

社会福祉法人栃木県共同募金会鹿沼市支会

会長 宇賀神 伴吉 様

記入例

団体名 子育てサロン「あかいはね」
 代表者名 赤羽根 さつき
 住 所 鹿沼市〇町12-34
 連絡先 010-2345-6789



赤い羽根公募助成事業 申請書

事業対象時期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

公募助成については、以下について十分理解した上で申請いたします。

（申請にあたりご承認のうえ□にチェック☑を入れてください）

✓	公募助成の要綱及び募集要項の内容を全て確認し目的を理解しました。
✓	公募助成の財源が地域住民等の募金であることを理解しました。

1. 申請する事業の目的と成果

（1）申請をする事業名（助成金を使って実施したい事業や活動の名称）

親子で防災体験事業～災害時の食を考える～

（2）申請をする事業の目的（助成金を使って何のために実施するのかを明記）

近年、日本各地で災害が起きており、「防災」「避難」といったことも自分事と捉える方が増えている。同時に、特に小さい子どもを抱える家庭では非日常に対する子どものストレスや栄養、時間の過ごし方など大きな不安も感じている家庭が多い。そのため、有事の際にもできる限り普段通りの生活が送れるよう、各家庭で備えを考える機会となることを目的に実施する。

（3）申請をする事業を行うことによって得られる成果

（対象者や地域にどのような効果が得られるか、またその後の発展について）

① 事業を行うことによる具体的な効果

災害時における食事や子どもの栄養の考え方を学ぶことで、有事における不安の軽減や対策につながる。また、親子で体験することで、様々な視点から考えられることが期待されるとともに親子での共通の話題としてコミュニケーションが図られることも期待する。

通常サロン参加の親子以外にも参加してもらうことで、地域の方にも広く周知の機会となる。

② 事業を行った後の発展について

各家庭個々の実情に応じた「備え」を考えるきっかけとなることを期待する。また、子育て世代（ママ友など）のネットワークで参加外の子育て世帯への情報周知や啓発がなされることで地域としての防災力向上への一助となることを期待する。

2. 申請する事業の具体的な実施内容

(1) 実施する時期 (いつ行うのか、期間や開催日程について)
<p>①令和7年8月7日(木) 10:00~13:30 …… 夏休み中に設定</p> <p>②令和7年9月18日(木) 10:00~13:30 …… 防災の日に合わせて実施</p> <p style="text-align: center;">※対象者を変えて実施する</p>
(2) 実施する回数・数量 (事業の開催回数、啓発物などは必要な部数)
<p>2回</p> <p>案内チラシ: 100枚</p>
(3) 実施する場所 (どこの、どんな場所で)
<p>鹿沼公民館 調理室</p>
(4) 対象となる人・範囲 (どういう人か、なぜその人なのか、どこまでを)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目: 小学生の親子を対象に、2回目: 未就学児の親子(親のみ参加可)を対象に開催。 ・ 各回15組以内(30名程度)を定員とする。 ・ 市内在住で、災害時の食に不安や関心がある親子を対象とする。 <p style="text-align: center;">※対象に合わせてメニューを変えて実施。「備え」をより現実的に親子で捉える機会とする。</p>
(5) 事業を実施するための詳しい事業の内容 (何を、どのように、どのくらい、協働して事業を行う団体など)
<p>講師を迎え、災害時の食についての講話をいただき、日常の中からできる「食への備え」や避難所生活について等を親子で考える。その後、パッククッキング(ポリ袋調理)を体験し、試食する。子どもたちが飽きてしまうことのないよう、災害時にも活かせるようなワークや簡単なゲーム・工作等も取り入れながら実施する。</p> <p>1回目はカレーライスと牛乳寒天を、2回目はチキンライスとみかんゼリーを調理予定。各回ともに参加者15組(30名程度・子どもの人数で変動あり)と地域の食生活改善員5名を依頼し調理補助をいただくほか、スタッフ5名と講師1名の41食分(予定)を調理する。班に分かれて行うこととするが、基本的には自分の分は自分で調理することで、アレルギーや感染症への対策も配慮する。ただし、特に2回目(未就学児親子対象)は、スタッフが子どもたちの面倒を見るなど、参加者にはできるだけ事業に参加いただけるよう配慮することで、参加者同士、参加者と食生活改善員、参加者とスタッフなど、子育て中の方たちが地域とのつながりを持つ機会ともしたい。</p>
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>助成金を使って行う内容を詳しく記入</p> </div>

3. 申請事業における総予算と助成金の使い途について

【A】 助成金の申請額 申請事業に必要とする金額（但し上限100,000円以内）	100,000 円 (千円単位で記入)
【C】 申請事業の総額 助成金申請額【A】 + 自己資金【B】 の合計金額	105,490 円

助成金申請事業の支出内訳

区分	費目	支出金額 (円)	積算内訳 (単価×数量など詳細に記載する)
助成金支出	諸謝金	20,000	講師謝礼 1日10,000円×2日×1名
	賃借料	5,000	会場費 @500円×5時間(9~14時)×2日
	消耗品費	2,000	耐熱ビニール袋、ネームペン、消毒液 など
	材料費(食材費)	40,000	各日41食(1日目:カレー/2日目:チキンライス)
	参加者お土産・お茶代(一部)	30,000	非常食クッキー缶@537円×50個/飲み物@2,160円×4箱(96本) 合計35,490円のうち30,000円を助成金より支出
	印刷費	3,000	周知用チラシ(100枚)印刷費として
	合計【A】	100,000	※100,000円以内かつ千円単位
自己資金支出	参加者お土産・お茶代(一部)	5,490	非常食クッキー缶@537円×50個/飲み物@2,160円×4箱(96本) 合計35,490円のうち5,490円を本会より支出
	<p>同じ費目で、助成金と自己資金の両方から支出する場合は、合計額のうちそれぞれで支出する金額をわかるように記入してください</p>		
			<p>会員のみが利益を受ける支出・運営費は自己資金から支出してください</p>
合計【B】	5,490		
申請事業総額【C】	105,490		※【A】 + 【B】 の合計金額

4. 提出書類の確認(申請書類をすべて確認しました※□にチェック)

✓	申請書(事業の目的・内容と積算根拠を明確に記入しました)
✓	定款または会則等(団体の活動目的がわかる資料)
✓	令和6年度の総会資料(収支状況のわかるもの)
✓	役員名簿

5. 要項の確認(助成金の性質・目的を理解しました※□にチェック)

✓	実施時や事業終了後に、赤い羽根共同募金の助成を受けて事業を実施した旨について、広報・周知することを理解しました。
✓	助成交付団体は、令和7年度の募金運動や街頭募金運動に協力します。